

必ず来る大地震に対し自助の備えはどのようになっていますか ???
生命・財産を守れますか！！

地震そのとき10のポイント

地震時の行動

1 地震だ！ まず身の安全

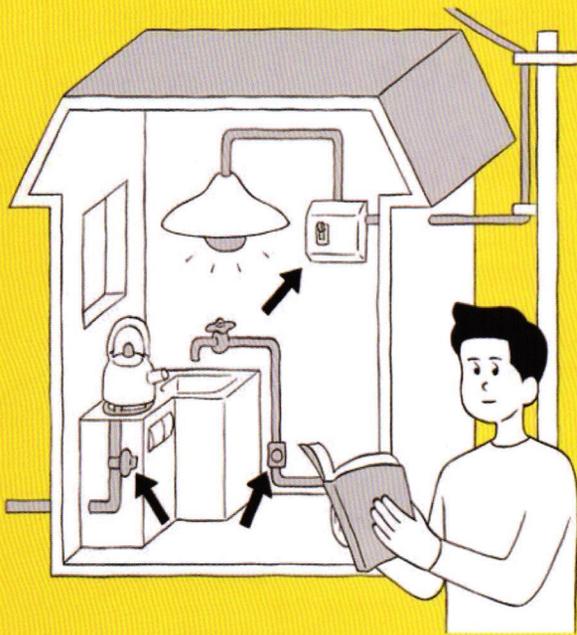
地震直後の行動

- 2 落ち着いて 火の元確認 初期消火
- 3 あわてた行動 ケガのもと
- 4 窓や戸を開け 出口確保
- 5 門や壁には 近寄らない

地震後の行動

- 6 火災や津波 確かな避難
- 7 正しい情報 確かな行動
- 8 確かめあおう 我が家の安全・隣の安否
- 9 協力しあって 救出・救護
- 10 避難の前に 安全確認 電気・ガス

電気・ガス・水道の点検



止め方と復旧の方法を確認

巨大震災時には、電気・ガス・水道が止まることがある。

通常電気は7日、上下水道30日、都市ガスは60日程度での復旧を目標にしている。

避難するときは、電気ブレーカーを落とし、ガス栓と水道メーターの元栓を閉める事。

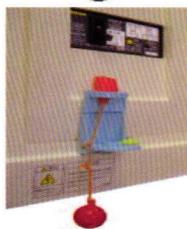
あらかじめ設置場所を確認し、止め方、復旧の方法を覚えておきましょう。

倒れた家財の中にスイッチが入った状態の電気製品があると、通電再開後、火災の原因になるので必ずブレーカーを落とす事。ガス管やガス器具が壊れていると、復旧時にガス漏れを起こし爆発の恐れがある。

①



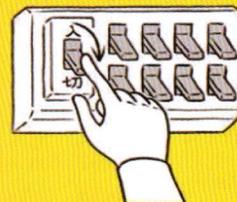
②



優れ物紹介

地震の揺れで重りが落下し重りの重力でブレーカーが落ちる

ブレーカー断ボール
(3千円前後・アマゾン参照)



ブレーカーを落とす



ガスの元栓を閉める

編集後記：今年度も片瀬山では大きな災害に見舞われる事なく、平穏な日々を送る事が出来たかなとホットしている次第です。
”災害は忘れた頃にやってくる”の諺を踏まえて、すでに発行済みの”片瀬山防災だより”を参考に十分な対策を立てて下さい。
今回を持ちまして編集責任者を後任に託します。今後も油断する事なく、呉々も防災に関心を持ち続けて下さい。(和田)



発行：片瀬山防災会

連絡先：メール kataseyama.bousaikai@gmail.com

発行責任者：会長(若月) 編集責任者：広報(和田)